



今回のテーマは

最近見かける「Wi-Fi 6」ってなんだろう？



スマートフォンやタブレットが普及してきて、ご自宅や外出先で無線LANを使う機会が増えていると思います。最近になって「Wi-Fi 6」という名前をちらほら見るようになりました。これはいったい何なのでしょう？

ちょっとその前に、今までの無線LANの規格について

これまでは、無線LAN対応の機器の仕様を見ると、「IEEE 802.11ac」や、略して「ac」という様な表記でした。もしくは「IEEE 802.11a/b/g/n/ac」のようにまとめて表記している場合もあります。今お持ちの携帯や無線の機器も、おそらくこの表記だと思います。

「Wi-Fi 6」とは何？

無線LANの規格であるIEEE 802.11の規格のうち、最新の規格である「IEEE 802.11ax」と、現在主流の規格である「IEEE 802.11n」と「IEEE 802.11ac」から、ナンバリング規格名として「Wi-Fi 〇」という名称も付与される様になりました。規格が決められた順に「IEEE 802.11n」「IEEE 802.11ac」「IEEE 802.11ax」に対して、それぞれ「Wi-Fi 4」「Wi-Fi 5」「Wi-Fi 6」と付与されました。

つまり、「Wi-Fi 6」とは「IEEE 802.11ax」の別名という事です。

※Wi-Fi 1, 2, 3については古い規格のため、特にナンバリングされていません

ナンバリング規格名	----	----	----	Wi-Fi 4	Wi-Fi 5	Wi-Fi 6
Wi-Fi 規格名	IEEE 802.11a	IEEE 802.11b	IEEE 802.11g	IEEE 802.11n	IEEE 802.11ac	IEEE 802.11ax
最大通信速度(理論値)	54Mbps	11Mbps	54Mbps	600Mbps	6.9Gbps	9.6Gbps
周波数	5GHz 帯	2.4GHz 帯	2.4GHz 帯	2.4GHz 帯	5GHz 帯	2.4GHz 帯
				5GHz 帯		5GHz 帯

Wi-Fi 6の利点

- 無線通信の最大通信速度がアップ
- 混み合った環境でも、安定した通信
- 接続する端末のバッテリー消費を節約できる



現在のところは、Wi-Fi5がまだまだ主流ですが、これから出てくる機器はWi-Fi6に対応した物も発売されてきています。無線ルーターやスマートフォンを買い替える際には、Wi-Fi6対応について検討してみたいかがでしょうか。Wi-Fiの規格は「下位互換」といって、古い規格にも対応しているのでWi-Fi 6 未対応機器との接続でも、下位の規格で接続できますのでご安心を。